

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 31 日

仕 事 の 内 容	第7回うまかんべえ～祭				
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係	課長名 小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	3 - 6	-
【施策名】 観光事業の推進	総合計画書 (ページ)	79	

予算名	款 7	商工費	項 1	商工費	目 3	観光費	事業 1	観光推進事業
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	--------

1	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内外の人 → 市民+α	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] イベント内におけるグルメコンテストを通じて、グランプリメニューを決定、その他魅力あるイベント企画を実施し、市内外から多くの来場者を募り交流人口の増加及び東大和市を広くPRする。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 来場者数
	③ そのために何をしましたか。 東大和市うまかんべえ～祭実行委員会と共催で、第7回うまかんべえ～祭を開催した。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → ①出展団体数 ②販売食数

2	指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標		
		対象指標	①の数値	人	市民+α	市民+α	市民+α	/	/	
		成果指標	②の数値	人	42,500	62,000	82,000	/	/	
		目 標	②の目標値	人	/	44,000	48,000	50,000	/	/
			目標値設定の考え方 前回を超える当日来場者を目指す							
活動指標	③の数値	①店舗 ②販売食数	① 16 ② 20,000	① 20 ② 24,000	① 24 ② 24,000	/	/			

3	経費	事業費(実績)		円	3,900,000	3,900,000	3,900,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源	一般財源	円	3,900,000	3,900,000	3,900,000	
			特定財源	円	0	0	0	
			(うち受益者負担)	円	0	0	0	
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
			所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
			職員人件費(再任用以外)	円	8,267,000	8,253,000	8,244,000	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0				
事業費+人件費		円	12,167,000	12,153,000	12,144,000			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成24年度に市としては初めてとなる「食」をテーマとした祭として実施された。地方分権の進展から地方自治体が自身をPRし、競う環境にある中、市の「食文化」と地域に住む「人」そのものを、かけがえのない観光資源として捉え、企画され、「これぞ東大和」と呼ぶにふさわしいご当地グルメの開発を市民総出で行うことを事業の主な目的としている。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 グルメコンテストの冠を外し、「うまかんべえ～祭」としたが、グルメコンテストは継続して祭の柱として行うこととなった。グルメコンテストを通じてグランプリメニューを決定することを主な目標とすることになった。

仕 事 の 内 容	第7回うまかんべえ～祭			
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係 課長名 小川 泉

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	来場者数が年々増加していることに伴い、祭の安全管理について意見があった。

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法 ① ② 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 イベントの運営に協力してくれる市民団体や地元企業を増加させる。	

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 【実行委員会の課題】 ・イベントの準備期間に余裕がない。 ・イベントの拡大に際し、予算が逼迫しているため協賛金等の増加させる努力が必要である。 ・コンテスト実施後、創出されたご当地グルメ候補メニューの活用やPRがうまくできていない。 【市の課題】 ・市外からの交流人口増加のため、PR活動を工夫する必要がある。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 【第7回の開催にむけての取り組み】 ・協賛の方法として、物品による協賛を受け入れたことにより、経費を削減することが出来た。 ・会場内にビジョンを設置し、会場の一体感の醸成を図った。 ・東大和市商工会青年部主催の「ランニングバイク」イベントを同時開催し、全国からの来場もあった。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ・イベントの拡大に際し、予算が逼迫しているため、引き続き協賛金等を増加させる努力が必要である。 ・コンテスト実施後、創出されたご当地グルメ候補メニューの活用やPRがうまくできていない。

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ・事業準備の開始時期を早め、十分な準備時間を確保する。 ・周知やPRをより効果的に実施し、イベントの知名度と主旨の理解の向上を図る。 ・ご当地グルメの創出に当たっては、市内事業者の協力を得ることや、市内外のイベント等に積極的に出店するなど、露出の機会を増やすことで知名度の向上を目指す。 ・事前告知の時期を早めるとともに、協力団体のネットワークを活用し、イベント周知に努める。
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・事業実施後も実行委員会を継続的に開催することにより、課題や入賞メニューの活用を検討する。 ・広報物に掲載する情報を早めの段階で調整し発行することで、広報物が目に触れる期間を長くする。 ・イベント実施の前から、普及やPRに向けた準備を実行委員会をはじめ市民協働で行う。
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。 成果 成果を向上させる。 経費 仕事の経費を増加させる。